

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年9月20日

【評価実施概要】

事業所番号	0170501639		
法人名	株式会社 ケア・ハート		
事業所名	グループホーム あかしあ		
所在地	北海道札幌市豊平区中の島2条7丁目3-15 ル・パル中の島3階 (電話) 011-816-8338		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年9月9日	評価確定日	平成21年9月28日

【情報提供票より】(平成21年7月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	14人, 非常勤 4人, 常勤換算 15人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5 階建ての 3 ~ 4 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	20,000 ~ 30,000 円
敷金	(有) 36,000 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(無) 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,300 円		

(4) 利用者の概要(7月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	6 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 85 歳	最低 74 歳	最高 93 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭町医院・きよみず公園クリニック 羊が丘病院・日之出歯科真駒内診療所
---------	---------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者・職員は、利用者が自分らしくゆったりと笑顔で生活出来るような環境作りを心掛け、その時々のお互いの思いを隠さず話せるような関係性を構築し職員と利用者が家族のような信頼関係を築かれています。ホームの周辺は、地下鉄駅や遊歩道のある公園、白石藻岩通の幹線やマンション、住宅街が広がり環境と立地条件に恵まれており、5階建ての寮を改装した3階、4階に開設されています。無為な時間をなるべく作らないように取り組み、季節に合わせた行事やカラオケなどのレクリエーション、気分転換のために日常的な外出の支援が行われ、散歩や買物、月寒公園での花見、家族会にも参加を呼びかけた外食や円山動物園見学、野外でのバーベキューなどの取り組みも行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、同一区内のグループホームとの取り組みが改善点としてあげられていましたが、包括支援センターでの管理者会議で意見交換やネットワーク作りに積極的に参加し取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) ホーム独自の自己評価チェックシートを利用して定期的に評価し改善点を自ら見出しケアサービスの質の向上に利用されています。また、自己評価及び外部評価の結果についても評価を活かして改善に向けて取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、定期的の実施されています。議題は 本年度行事と運営推進会議の予定について 包括支援センターによる講演会 日常の利用者の様子について 昼食を兼ねた交流会 サービス評価について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 年2回家族会を開催し、職員と家族、利用者の意見交換をして相互理解に取り組んでいます。また、「あかしあ便り」を毎月発行し、日常の暮らし方や行事参加の様子を写真を添付して報告されており、体調の変化についても都度電話連絡で詳細に報告し来訪時には意見や不満、苦情を言いやすい雰囲気作りを心掛けています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 「あかしあ便り」を町内会に回覧し広報活動に取り組んでいます。また、町内会に加入して地域の行事の運動会や公園清掃、街路樹の手入れなどに参加し日常生活を通じて地域との連携に取り組まれています。また、中学生の体験学習やボランティアの受け入れなど地域の人達との交流が行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆったり 笑顔で その人らしく」を基本理念として、「普通で当たり前の生活を提供」「本人の自発性を促しペースに合わせたケアの提供」「認知症を理解したケアを提供する」の3つのケア理念をつくりあげ職員間で共有されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎日の申し送りや定期的なカンファレンスで基本理念及びケア理念の実践に向けて話し合う機会を設けて日々、取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	「あかしあ便り」を町内会に回覧し広報活動に取り組んでいる。また、町内会に加入して地域の行事の運動会や公園清掃、街路樹の手入れに参加し日常生活を通じて地域との連携に取り組まれている。また、中学生の体験学習やボランティアの受け入れなど地域の人達との交流が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム独自の自己評価チェックシートを利用して定期的に評価し改善点を自ら見出しケアサービスの質の向上に利用されている。また、自己評価及び外部評価の結果についても評価を活かして改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催されており、委員は家族、町内会役員、包括支援センター職員、法人役員及び管理者・職員で構成され、ホームの様子や行事の取り組みの報告、昼食を兼ねた交流会など具体的にサービス向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	札幌市や区主催の管理者会議や研修会に出席し、情報交換や意見交換する機会を作っている。また、事業所及び管理者は、行政との連携の重要性については理解し、地域包括支援センターの職員には、常に行事への参加を呼びかけている。		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年2回家族会を開催し、職員と家族、利用者の意見交換をして相互理解に取り組んでいる。また、「あかしあ便り」を毎月発行し、日常の暮らしぶりや行事参加の様子を写真を添付して報告されており、体調の変化についても都度電話連絡で詳細に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時、意見や不満、苦情を言いやすい雰囲気作りを心掛けている。また、家族会や運営推進会議で意見交換が行われ、出された意見は真摯に受け止め、運営に反映出来るように全職員で話し合い取り組まれている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者及び管理者は職員が働きやすい環境づくりを心掛け、やむなく異動や離職する場合は利用者が不安にならないような説明や対応を心掛けて利用者へのダメージを防ぐ取り組みを行っている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の段階に応じて、市やグループホーム連絡協議会等の外部研修への参加やホーム内での勉強会や研修会を実施している。外部研修に参加した職員はホームの報告会で発表し職員全員で内容を共有している。また、資格取得などの経費は事業所が負担している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は市や区、包括支援センターでの管理者会議で意見交換やネットワーク作りに取り組んでおり、職員も勉強会や研修会で他のホームの職員と交流する機会を持っている。また、同一法人内の他ホームとの交流やグループホーム連絡協議会でも交流が図られている。		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら時間をかけて取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀しみを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と一緒に居室の掃除や料理の下ごしらえや後片付けをしている。また、編み物、歌などの趣味活動、おやつを食べて談笑しながら喜怒哀楽を共にし、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用前から本人や家族の思いや暮らし方の希望、意向の情報を収集し、日常の会話でも把握に努めている。散歩や買い物、ラーメンや寿司などの外食に出かけたり、食事の準備や編み物など本人の希望や意向を尊重した取り組みがなされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員間で話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している、また、全職員にセンター方式が定着している。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、期間に応じて評価、見直しが行われており、状態変化に応じて都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。また、記録と介護計画の目標が連動するように取り組まれている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々要望に応じて通院や往診、訪問看護、歯科等の健康管理の面で柔軟に対応している。また、床屋や美容院の出張サービス利用、日常的な散歩や外食など柔軟な支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を優先し、かかりつけ医と協力し適切な医療を受けられるように支援している。また、医師、歯科医師の往診があり、週に一度、利用者や職員と馴染みの訪問看護職員による日常の健康管理や医療相談等、柔軟に支援が行われている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、現状では、職員の知識や経験では困難であると考えているが、今後、ホームとして可能な対応について全職員で話し合い、訪問看護師の協力を貰い早い段階から本人や家族ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合う機会を作ることを検討している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳と誇りを損ねないような言葉かけや対応を心掛け、プライバシーや羞恥心の配慮にも注意して支援している。また、記録の扱いについても、十分に注意している。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式で一人ひとりの気持ちが把握され職員間で共有されている。利用者の希望や思いを尊重し、調理や食事の準備、居室の掃除など役割事への支援、縫い物や歌などの趣味への支援など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に準備、食事、片付けを行っており、献立については利用者の好みや希望をメニューに反映させている。また、一人ひとりの体調に合わせて調理方法を工夫しており、野外でのバーベキューや出張の握り寿司なども行われている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本、三日に1度のサイクルを目安に、利用者の希望やタイミングに応じて対応している。また、入浴拒否の利用者にも入浴を促す工夫をして柔軟に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用前の生活歴を踏まえて、日常の中で家事や裁縫等、得意としていた事をホームで継続して実現出来るように心掛けている。また、寿司などの外食や野外でのバーベキューなど気分転換のための機会も多く作られている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望に添って散歩や買物、喫茶店への支援を行っている。また、計画を立て円山動物園見学や月寒公園での花見、ラーメンや寿司などの外食や野外でのバーベキューなど気分転換ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員は居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。外出傾向が見られる利用者にはさりげなく声かけしたり、一緒に出かけるなどして鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	防火管理者を設置し、緊急連絡網や火災等の緊急時対応マニュアルを作成している。年2回消防署の立ち会いのもと避難訓練を実施し、建物内の他のグループホームと合同で行われており、救急救命訓練も実施されている。	○	今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるように運営推進会議で働きかけを行い、地域の人々を含めた火災避難訓練を実施し、地域との連携強化が図れるように検討している。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量が記録されており、食事については常勤の栄養士の指導のもと栄養バランスとおおまかなカロリーが把握されている。一人ひとりの健康状態に合わせた量や調理の工夫がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	大きな音を出さないように注意をはらい、眩しすぎない自然な採光により落ち着いた環境を整えるように配慮している。また、窓からは山々が望め季節感が感じられる。ホーム内は季節を感じる事が出来るような花などを飾り、壁には行事や日常の様子を写真を掲示し居心地よく暮らせるように努めている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具類は本人が使い慣れた馴染みの物を持ち込むよう働きかけしており、家族との写真や本人の趣味の作品等を飾り居心地よく過ごせる居室の環境作りに努めている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。